

## 第 1 4 回厚生常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成 2 6 年 1 1 月 1 8 日 (火曜) 午後 1 時 3 0 分		
	休憩時間 13:54-13:54 14:20-14:23 14:27-14:35		
	午後 3 時 0 3 分		
会議場所	役場 3 階 第 1 委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 岡崎榮太郎	委 員 唯野 義勝	議長 広瀬 重雄
	副委員長 高橋 仁美	委 員 吉田 敏郎	
	委 員 高橋 源		
説 明 等 に 出席した 者の氏名	保健福祉課長 中川ゆかり	公立芽室病院事務長大野邦彦	子育て支援課長 安田敦史
	課長補佐 有澤勝昭	事務長補佐 菅原庸晴	課長補佐 佐々木快治
	社会福祉係長 佐々木雅之	医事係長 藤澤英樹	児童係 藤村 学
	社会福祉係 山田陽子		
事務局職員	局長 西科 純	次長 剣持 和裕	書記 大石 真澄

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局長から本日の委員会の日程について説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- ア 平成 2 6 年度上半期公立芽室病院の経営状況について 資料 1
- イ 平成 2 6 年度高齢者等冬の生活特例支援事業の実施について 資料 2
- ウ 臨時福祉給付金の実施状況について 資料 3
- エ 子育て世帯臨時特例給付金の実施状況について 資料 4
- オ 先進地事務調査報告書(案)について 資料 5

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日時について
- (2) その他

2 議 件

(1) 調査事項

- ア 平成 2 6 年度上半期公立芽室病院の経営状況について 資料 1
  - ・大野事務長、菅原事務長補佐及び藤澤医事係長の説明後、質疑を行う。
  - ・高橋(仁)委員： スタッフの充足状況は。
  - ・事務長： 平成 2 6 年度に入って不足していたが、委託によって増強した。職員は年度当初より充足しているが、不足には変わらない。契約で対処しているが患者対応については充足できておらず、継続して公募している。

- ・高橋（仁）委員： 介護士・看護師が大変と聞いている。これはどういう課題があると分析しているか。
- ・事務長： 明確ではないが、当院においては入院病床が多く、そこに傾注する傾向はある。近年、厳しいのは近隣に福祉施設ができ、介護職員、看護助手の雇用がある。若い職員の応募は特に勤務条件によるもの大きい。
- ・唯野委員： 決算は好転してきているが、年間の目標に達するよう努力していただきたい。定員ベースにあるというが、業態が変わっているようで、正職員に採用しなければならないとも考える。定員の見直しを図るべきではないか。
- ・事務長： 前年度対比では回復しているが、目標には達していない。中期計画はあるが2年に一度の診療報酬が変わり、7：1の割合で急性期対応がある。当院は在宅診療に対応していないが、地域包括ケアに取り組む必要がある。委員会を立ち上げ、在宅復帰を目指すとなれば当院がどういう病院を目指すのかの議論をしなければならない。在宅やリハビリに向けて高いものを目指した場合にどういうマンパワーを果たすべきかを協議しなければならない。
- ・唯野委員： 在宅や地域包括ケアを含めなければ、取り残される。スピード感をどう持つかが重要では。
- ・事務長： 今後の経営計画をどう持つかが重要である。
- ・高橋（源）委員： 電気量が上がるがどれくらい影響があるか。
- ・事務長補佐： 当院では来年の7月以降に影響が出る。年間400万円ほどの影響が生じると考えている。
- ・吉田委員： 電気代の値上げについては、北電以外の電力会社を使う法人もあるがどうか。
- ・事務長： 当院としては変更する考えはない。

イ 平成26年度高齢者等冬の生活督励支援事業の実施について

- ・中川保健福祉課長及び佐々木社会福祉係長から説明後、質疑を行う。
- ・唯野委員： 道では電気料金の値上げによりプラスするようであるが対応は。
- ・佐々木係長： 従来からオール電化住宅も対応している。本町は燃料種別を問わず対応している。本町は、傾斜支給は考えていない。
- ・唯野委員： これまでのことを考えればそうであろうが、電力で幅が生じている以上、制度を改めていかなければならないのではないか。
- ・中川課長： 電気量が影響することは認識している。通常のことではなく冬期間の加味は考えていない。
- ・唯野委員： 冬期は使用料が増加する。
- ・中川課長： これまでもオール電化の方にも支援してきた。全体の4.3%であり、これまでと同じ考え方である。値上げを考慮することはない。
- ・唯野委員： 道の補助額はどうなるか。
- ・佐々木係長： 今回、補助基準額が180万円に上がり、90万円になるが、町の考え方に変更はない。

- ・高橋（源）委員：口座を持っていない場合はどうするか。
- ・中川課長：窓口支給もある。

#### ウ 臨時福祉給付金の実施状況について

- ・中川保健福祉課長及び佐々木社会福祉係長から説明後、質疑を行う。
- ・唯野委員：まだ終了していないということでもいいか
- ・係長：該当者へのダイレクトメールをしているが2回行っている。忘れていた方はできない。施設等に入所していた方などの調査を行いながら、課税かどうかのチェックが必要。

#### エ 子育て世帯臨時特例給付金の実施状況について

資料4

- ・安田子育て支援課長及び佐々木課長補佐から説明後、質疑を行う。
- ・質疑なし

#### オ 先進地事務調査報告書（案）について

資料5

- ・唯野委員：「指定外業者による持ち去り」としては。
- ・事務局次長：「指定された委託業者以外の者」としてはどうか。
- ・高橋（仁）委員：十分理解できる。
- ・高橋（源）委員：町内会で管理しているごみステーションは、無主物とならない。
- ・岡崎委員：町内会によって見解が異なっているのが問題である。
- ・高橋（仁）委員：「本町ではごみステーションに置かれた資源ごみを指定業者以外の者が持ち去る実態があり、」としてはどうか。
- ・委員長：そのように訂正する。
- ・高橋（源）委員：4項目目の内容は初めて出たが、構成町村に働きかけるのではなく、町に対して申し入れてはどうか。
- ・事務局次長：一部事務組合の収益が減るという主旨であるが、一考する。
- ・高橋（源）委員：構成町村に働きかえることはいいと考える。
- ・委員長：再度協議することとする。

### 3 その他

(1) 次回委員会の開催日時について 正副委員長に一任

(2) その他

- ・高橋（仁）委員：老人クラブとの意見交換会について、統一説明をどうするか。
- ・高橋（源）委員：各委員会での統一内容については、担当課から現状を聞いており、資料を基に話せるのではないか。
- ・吉田委員：8月に出した資料が大変分かりやすいのでこれでいいのではないか。
- ・唯野委員：常に動いているので、4項目についてある程度は、統一しておいてはどうか。
- ・委員長：議会フォーラム等で、数字も基にして説明すべきだったと考える。
- ・高橋（仁）委員：特に資料を用意する必要はないと考える。十分調査してきている。どれだけの枝葉をつけるかは、自分で考えて説明してはどうか。
- ・委員長：今までの資料をもとに話していただきたい。

以上をもって、委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	2名	報道関係者	1名	合計	3名
記載のとおり報告する。						
平成26年11月18日						
厚生常任委員会委員長 岡崎 榮太郎						